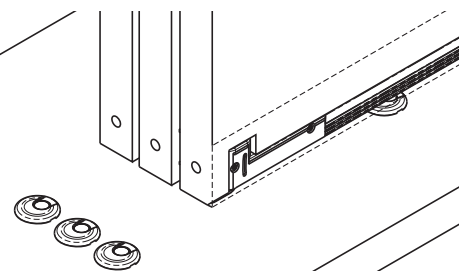


このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。



本製品について

- 引戸が通る時だけ床面のガイドピンがマグネット吸着により浮上して、振れ止めとなる下ガイドです。
- マグネットを最適な高さに自動で位置決めする、自動セット機能付きです。

正しく安全に施工していただくために

警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

- ❗ 本製品は強力なネオジムマグネットを使用しております。心臓ペースメーカーを装着されている方は接近して操作されると誤作動を引き起こすおそれがあります。引戸本体下部戸先側から 30 cm 以上はなれて操作および使用してください。

※その他医療電子機器類に関しても影響を与える場合があります。各機器メーカーまたは販売者にご確認ください。

図記号の意味



警告 軽傷を負うことや物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

- ❗ ガイドピンの周りは定期的に掃除機をかけ、ゴミやホコリによってガイドピンの動きが悪くならないようにしてください。
- ❗ ジュースなどの液体をこぼしたりしてガイドピンの動きが悪くなった場合は、ピンを引き上げて濡れた布で拭きよく乾かしてください。
- ❗ 床へワックスや洗剤を使用する場合はガイドピン内に入り込まないようにしてください。固着によりガイドピンの動きが悪くなることがあります。
- ❗ マグネットガイド受のマグネット吸着面に異物が付着した場合は取り除いてください。動作不良の原因になります。
- ❗ 本製品は厚さ 12 mm 以上のフローリング専用です。クッションフロア等の柔らかい床やコンクリートやモルタルへの取り付けはできません。
- ⚠ 構造上、引戸の走行時にガイドピンの作動音が発生します。
- ❗ ガイドピンが突出状態から戻らない場合は必ず手で押し戻してください。思わぬけがをするおそれがあります。
- ⊘ 扉を強い力で開閉したり強い衝撃を与えないでください。扉、金具が破損したり思わぬけがをするおそれがあります。
- ⊘ 引戸の取手には掘込引手を使用し、右のようなバーハンドルは使用しないでください。
- ❗ 扉を外す場合は、ガイドピンが扉から完全に外れた状態で作業してください。扉・金物が破損したり思わぬけがをするおそれがあります。
- ❗ 一般住宅向の製品です。公共施設等には使用しないでください。



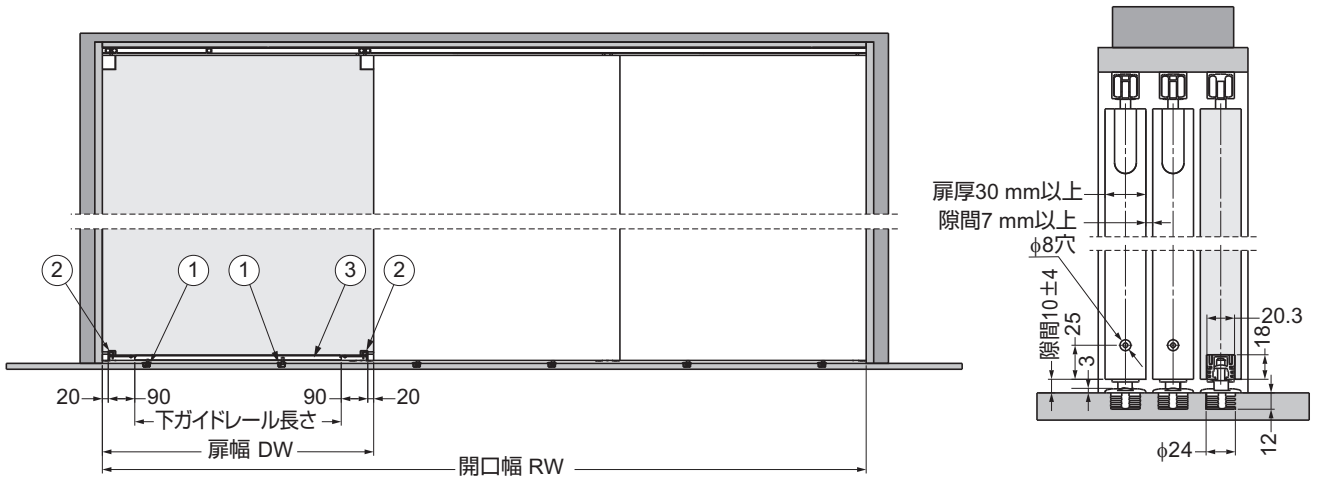
仕様

引戸仕様	扉幅	扉高さ	扉厚	扉質量	扉下端と床面の隙間寸法	床材厚さ
上吊引戸	590 ~ 1000 mm	2500 mm 以下	30 mm 以上	40 kg 以下	10 mm (± 4 mm)	12 mm 以上

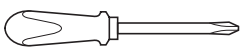
部品一覧

部品	①下ガイドピン	②マグネットガイド受	③下ガイドレール	④調整スパナ
	付属ねじ	十字穴付きなベタッピンねじ 3×14 2本	十字穴付き皿タッピンねじ 3×12 2本	十字穴付きなベタッピンねじ 3×16 4本
納まり例	使用数量			
片引き	4ヶ	2ヶ	1本	1ヶ
2枚引き違い	8ヶ	4ヶ	2本	1ヶ
2枚引き込み	10ヶ	4ヶ	2本	1ヶ
3枚引き違い	18ヶ	6ヶ	3本	1ヶ
3枚引き込み	18ヶ	6ヶ	3本	1ヶ
4枚引き分け	16ヶ	8ヶ	4本	1ヶ

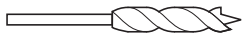
納まり寸法例 (3枚扉引き違い仕様)



必要な工具



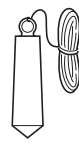
プラスドライバー 2番



木工用ドリル:φ24



電動ドリル

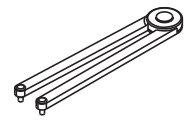


下げ振り



金属用のこぎり

下ガイドピン調整工具



専用工具 (オプション)
注文コード: 270-180-388
品番: Z059

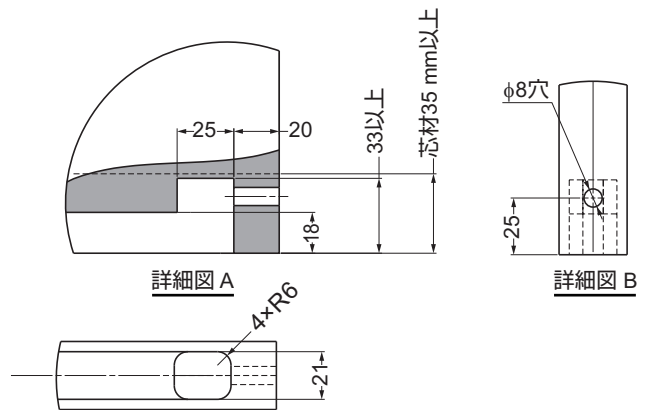
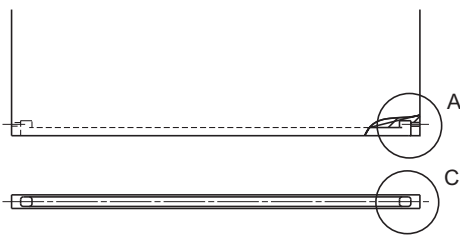
取付手順

取付前の確認

- ・扉の寸法が正しいこと
- ・扉に反りが無いこと
- ・枠、床が傾斜していないこと
- ・部品点数に間違いが無いこと
- ・扉、床の加工が間違っていないこと

1 レールおよびガイド受の取付け

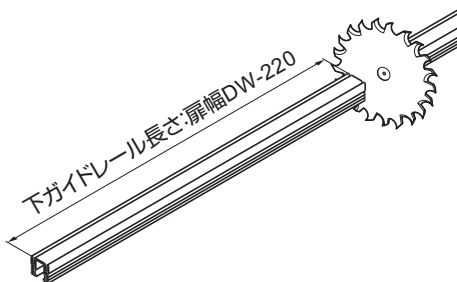
【1】扉加工



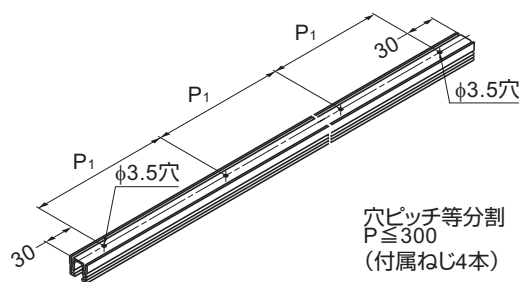
【2】下ガイドレール切断と穴加工

切断時はレールが変形しないように注意し、切断後はバリや切りくずを取り除いてください。

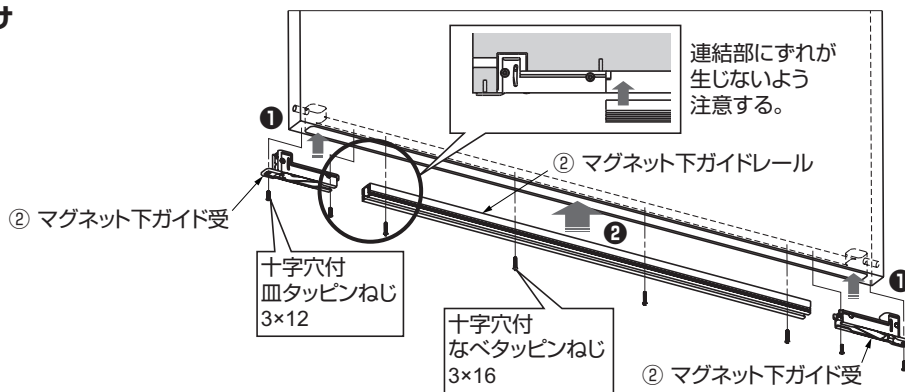
切断



穴加工



【3】扉への部品取付け



【2】下ガイドピンの取付け

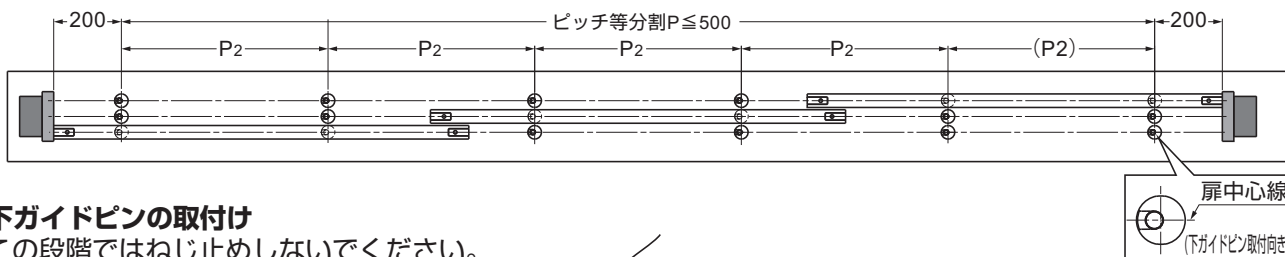
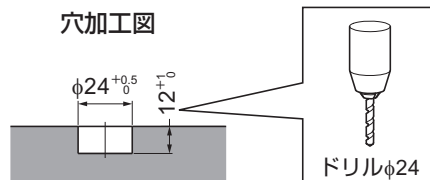
【1】取付穴加工

下げ振りを利用し上レールの鉛直下に、下ガイドピンの位置出しをしてください。

⚠ 注意

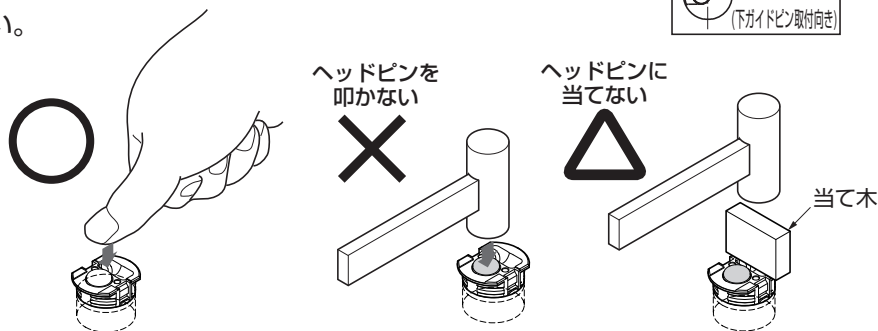
ガイドピン取付穴は垂直・正確にあけてください。また、穴を開けた後は、穴部分のゴミを除去してください。

穴加工図



【2】下ガイドピンの取付け

この段階ではねじ止めしないでください。(手順 5 - 【2】で固定します。)



【3】扉の吊込み

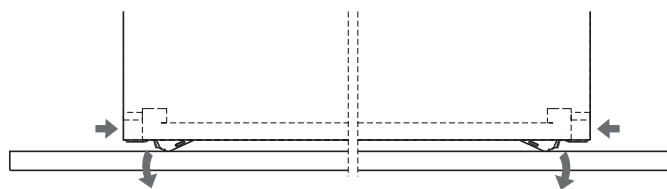
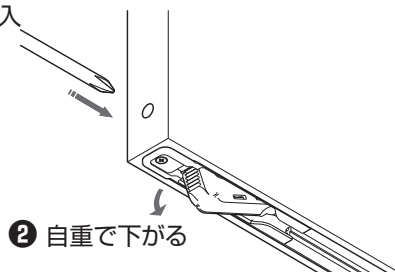
使用扉の取付説明書に従い、扉を吊り込んでください。その際、扉下端面と床面との隙間は、10 mm ± 4 mm の範囲内に調整してください。

【4】マグネット下ガイド受の高さセッティング

【1】ガイドピン受を下げる。

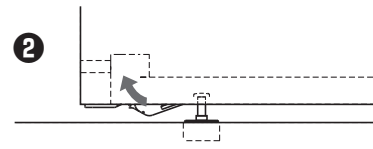
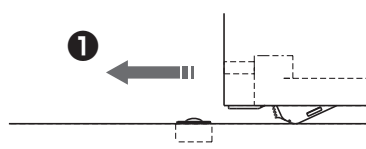
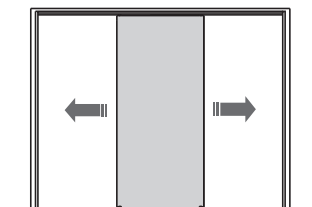
扉両端のマグネット下ガイド受にこの操作を行ってください。

① ドライバーなどを挿入



【2】自動セッティングを行う。

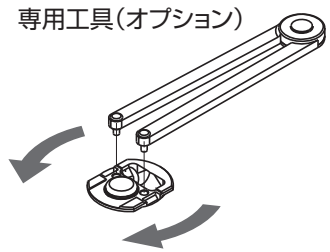
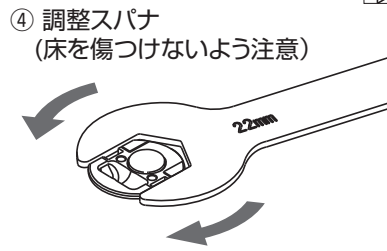
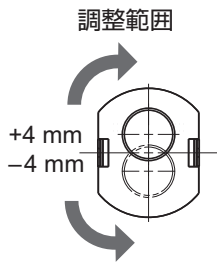
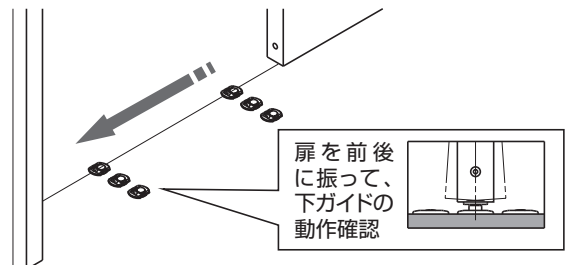
引戸をゆっくり動かし、床面の下ガイドピンを通過させると、ガイドピン受部の高さがセットされます。



5 下ガイドの動作確認と下ガイドピンの固定

【1】下ガイドの動作確認

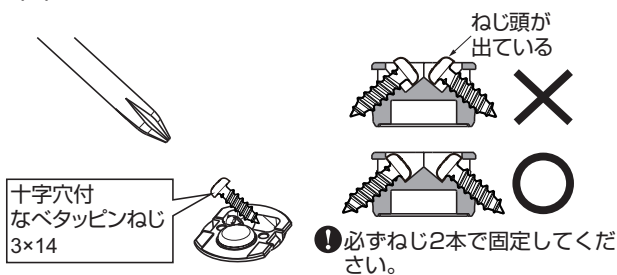
引戸をゆっくり動かし、扉を前後に振った状態でも、床面の下ガイドピンが扉の下ガイド受に引き付けられて、扉内の下ガイドレール内に引き込まれるか、確認してください。
下ガイドピンが正しく引き込まれない場合や、操作時に扉が蛇行して動く場合は、下ガイドピン本体の向きを調整してください。



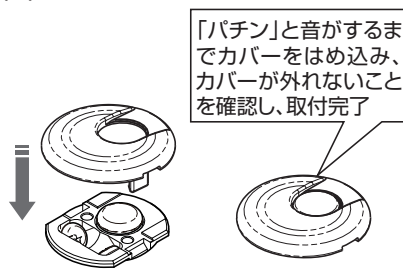
【2】下ガイドピン固定

下ガイドピンの向き調整後、付属の十字穴付なべタッピンねじ 3x14 2本にて、下ガイドピンを床面に固定してください。ねじ固定後、下ガイドピンにカバーをパチンと音がするまではめ込んでください。床面全ての下ガイドピンに対し、ねじで固定し、カバーをはめてください。

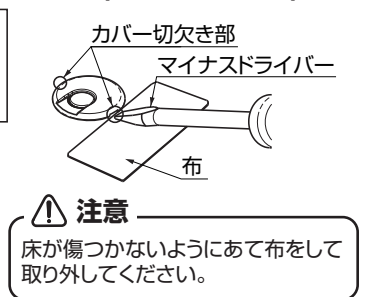
(1) ねじ止め



(2) カバーの取付け

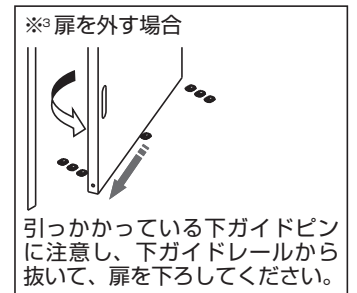
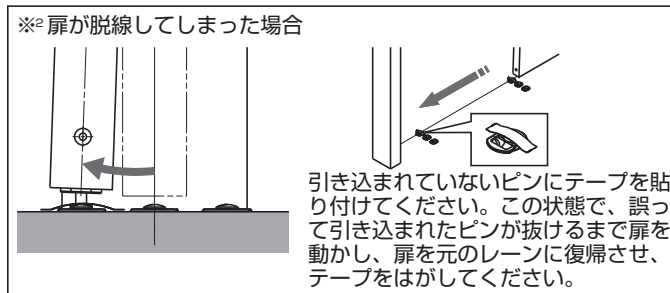
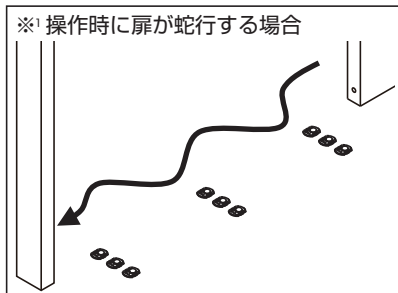


(カバーの外し方)



困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法
扉操作時に下ガイドピンが反応しない	下ガイドピンにゴミが溜まっていませんか。	ガイドピンにホコリやゴミが溜まるとピンの動きが悪くなるため、ピンを指で持上げゴミを取り除いてください
	ガイド受の高さ設定が手順どおり行われていますか。	手順4を参考にマグネットガイド受の高さセットをし直してください。
	扉と床との隙間は指定どおりの寸法になっていますか。	扉と床との隙間寸法が 10 mm (± 4 mm) から外れてしまうと、正常に作動しません。扉の高さを調整してください。
下ガイドピンは反応するがレール内にピンが入り込まない	下ガイドピンの位置調整が手順どおり行われていますか。	手順5を参考に、下ガイドピンの位置決めをし直してください。
	マグネットガイド受の吸着部に、異物が付着していませんか。	異物があった場合、取り除いてください。
※1 操作時に扉が蛇行する	下ガイドピンの位置調整が手順どおり行われていますか。	手順6を参考に、下ガイドピンの位置を調整してください。
※2 扉が脱線してしまった	扉が並列する隣のガイドピンを拾っていませんか。	下の説明に従い、扉を元のレールに復帰させてください。
※3 扉を外す場合の注意	扉から下ガイドピンが抜けていることを確認。	上吊引戸金物を外し、下図を参考にガイドピンを扉から抜くようにしてください。



本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお問い合わせいただけます。

電話番号 03 (3864) 1122

受付時間 月～金 9:00～17:30 (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03 (3863) 6875

E-mail : support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384) ・ ISO 14001 (JSAE597) 審査登録
※ISO9001: 物流 WEST を除く、国内拠点 ※ISO14001: 千葉工場および物流センター (SBC)
http://www.sugatsune.co.jp/ 2018.10 0779-4